

令和7年度 農業集落排水事業会計決算概要

農業用用水の水質保全及び農村集落の生活環境の改善を図り、併せて、公共水域の保全を図り、農村社会の形成及び循環型社会の構築に資することを目的に事業を進め、平成27年度に全11地区の整備を完了しました。

令和6年4月から地方公営企業法を適用し、四日市市農業集落排水事業経営戦略に基づき、施設の適正な維持管理や経営の効率化に努め、事業を実施しました。

1. 経営成績について

営業損失 305,763,093円、経常利益 67,166,178円、当年度純利益 67,444,178円となりました。

2. 財政状態について

令和7年度末における財政状態は、資産の部合計 3,763,145,678円、負債の部合計 3,139,746,784円、資本の部合計 623,398,894円となりました。

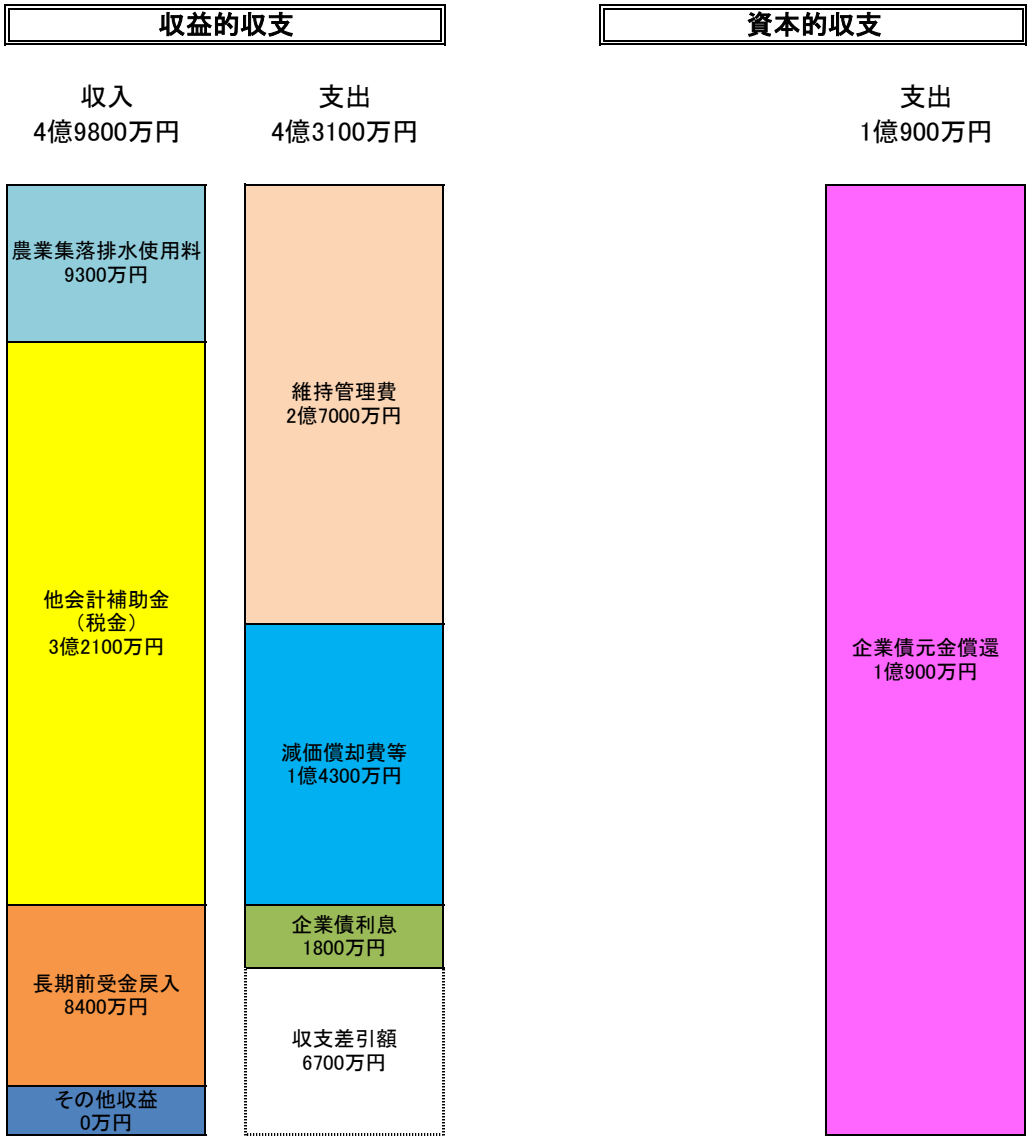
3. 普及状況

令和8年3月31日現在

項 目		令和7年度	令和6年度	差引増減
行政区域内人口	人	304,736	305,599	△ 863
処理区域面積	ha	291.0	291.0	0.0
処理区域内戸数	戸	2,133	2,140	△ 7
処理区域内人口	人	5,363	5,486	△ 123
有収水量	m ³	528,250	547,739	△ 19,489

4. 財政状況

※税込



《収益的収支》

収入 管理運営経費の財源である収益的収入は、農業集落排水を利用される皆様にご負担いただく農業集落排水使用料が19%、農業集落排水処理の経費のうち一般会計負担となる他会計補助金（税金）が64%、施設等を建設する際に過去に受け入れた国庫補助金等の減価償却費相当分である長期前受金戻入が17%となっています。

支出 施設・設備の維持管理費63%、減価償却費等33%、企業債の利息4%という構成比になっています。

《資本的収支》

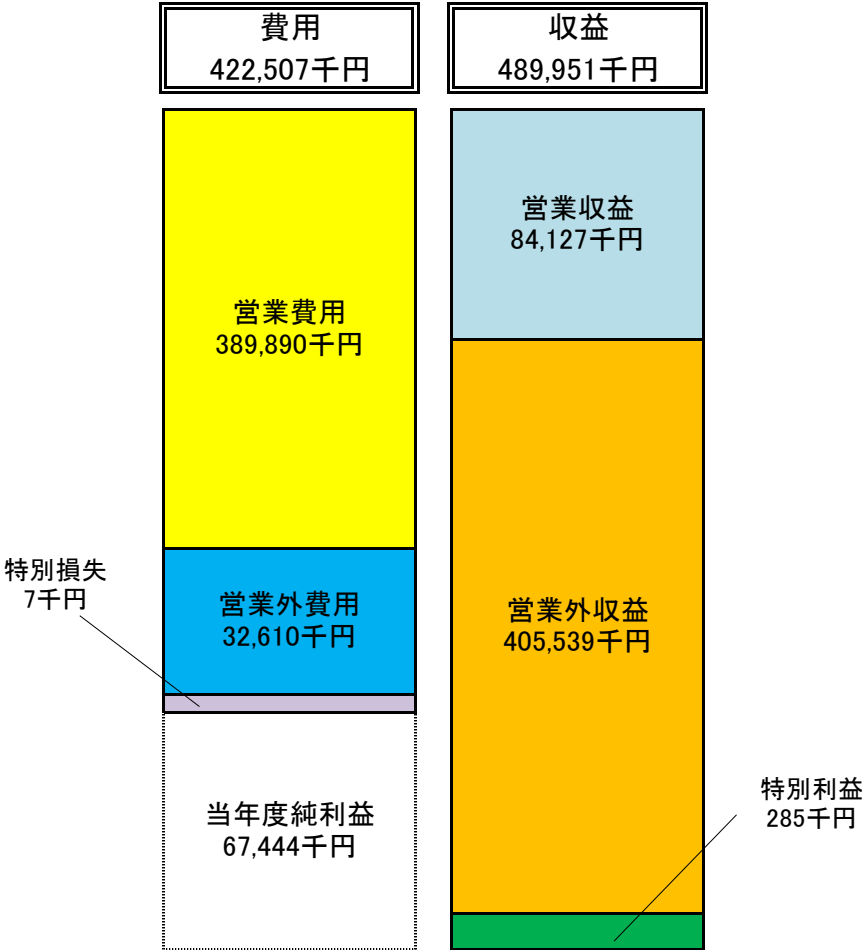
支出 企業債の元金償還が100%となっています。
なお、収支不足額は、当年度の利益や減価償却費などで補填しています。

損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

単位: 千円 (税抜)

費 用 の 部		収 益 の 部	
営業費用	389,890	営業収益	84,127
管渠費	47,226	農業集落排水使用料	84,127
処理場費	189,272	営業外収益	405,539
業務費	168	他会計補助金	321,412
総係費	9,963	長期前受金戻入	83,595
減価償却費等	143,261	貸倒引当金戻入	200
営業外費用	32,610	その他	332
支払利息	18,254	特別利益	285
その他	14,356	過年度損益修正益	285
特別損失	7		
過年度損益修正損	7		
費用の部合計	422,507	収益の部合計	489,951
当年度純利益	67,444		
合 計	489,951	合 計	489,951



損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、当該年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引くことによって損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

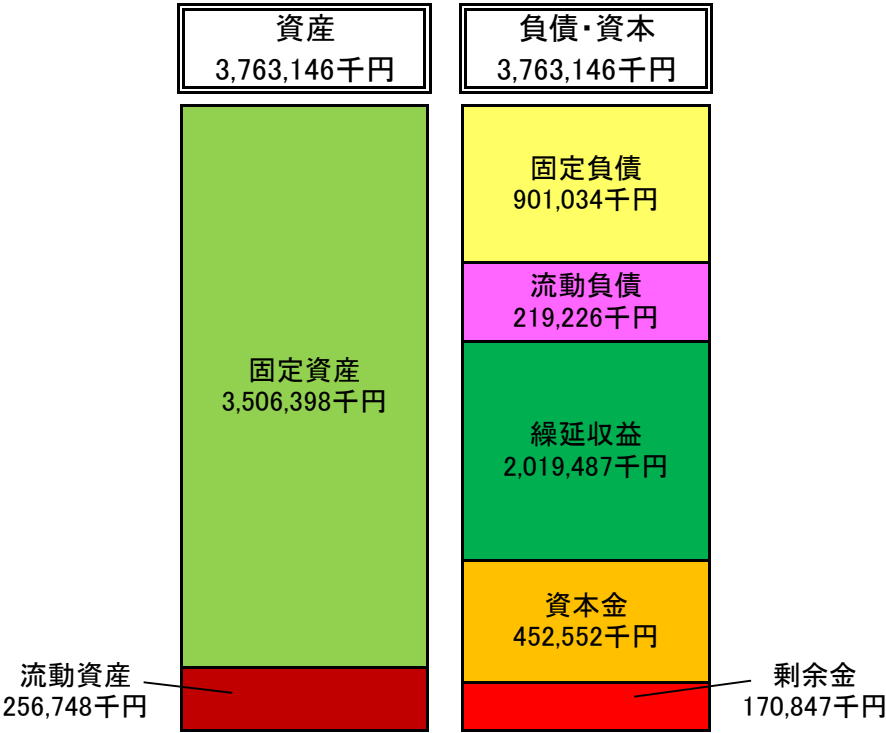
令和7年度は収益が費用を上回り、67,444千円の当年度純利益となりました。この利益は農業集落排水整備に伴い借り入れた企業債の元金償還に充てています。

貸借対照表

(令和8年3月31日)

単位: 千円(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	3,506,398	固定負債	901,034
有形固定資産	3,506,398	企業債	881,392
流動資産	256,748	引当金	19,642
現金預金	239,777	流動負債	219,226
未収金	16,971	企業債	107,479
		未払金	109,808
		引当金	1,934
		その他	5
		繰延収益	2,019,487
		長期前受金	2,019,487
		資 本 の 部	
		資本金	452,552
		自己資本金	452,552
		剰余金	170,847
		資本剰余金	86,919
		利益剰余金	83,928
資 産 合 計	3,763,146	合 計	3,763,146



貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

令和8年3月31日現在、資産（正の財産）のうち93%を有形固定資産（土地、建物、構築物等）が占めています。また、その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。